

厚生労働省委託

「令和5年度 労働者派遣制度等の今後のあり方についての
調査・研究事業」

地域における労働移動の活性化 ヒアリング結果報告

2024/3

(1) 事業目的・調査実施概要

- 地域における労働移動の活性化については、まずは事例収集から派遣事業者の地域特性を明らかにするため、ヒアリング調査を主軸として、調査を実施
- 派遣事業者の地域特性を明らかにすることを目的とし、「どのようなニーズがあるのか」「どのような工夫や課題があるか」を明らかにする目的で実施

◆ヒアリング調査で明らかにしたいこと

地域における労働移動の活性化

- ・ 遠方への労働者派遣は、どのようなニーズに対応しているか
- ・ 遠方への労働者派遣において、どのような工夫や課題があるか

◆ヒアリング項目案

	派遣元	派遣先
<u>地域における労働移動の活性化</u>	・ 遠方への派遣の概況 (派遣元・労働者・派遣先の所在地/居住地、派遣職種、派遣先業種等) ・ 遠方への派遣のニーズ (派遣元における遠方派遣の割合、遠方派遣に係る派遣先ニーズ・派遣労働者ニーズ) ・ 遠方への派遣における工夫・課題 ・ 遠方への派遣における支援ニーズ等	・ 遠方からの派遣受入の概況 (派遣元・労働者・派遣先の所在地/居住地、派遣職種、派遣先業種、当該職種の直接雇用と派遣労働者の通勤時間等の違い等) ・ 遠方からの派遣受入のニーズ (遠方派遣受入の理由・背景、直接雇用と比較した派遣のメリット等) ・ 遠方派遣受入に係る工夫・課題

(2) ヒアリング先概要

- 地域における労働移動の活性化に係るヒアリング先は以下の通り

派遣元事業所	#	本社 所在地	派遣 労働者数	事業年数	派遣労働者を広域的に 集めているか	Aさんの 就業場所	Aさんの 通勤時間	Aさんの 雇用契約	Aさんの 派遣先業種
	A	静岡県	50～99人	10年以上20 年未満	積極的に行っている	静岡県	30分以上 1時間未満	無期	IT関連
	G	東京都	10～29人	30年以上	積極的に行っている	神奈川県	1時間半以上	無期	製造業（消費関連）
	H	愛知県	50～99人	20年以上 30年未満	積極的に行っている	愛知県	1時間以上 1時間半未満	無期	情報通信業

派遣先事業所	#	本社 所在地	法人 全従業員数	事業所 従業員数	業種	Aさんの通勤時間
	b	兵庫県	50～99人	30～49人	建設業 （施行管理等）	1時間～1時間半

(3) ヒアリング結果

- 派遣元事業所の周辺地域では、派遣労働者の希望する業務に従事できない場合があるため、広域で派遣先を探している。
- 同内容の業務でも、地域によって価格が異なるため、遠方への派遣がより高い売り上げにつながることもある。

		A社
遠方への派遣（通勤時間1時間以上）の概要	割合	全ての派遣労働者が、事業所から通勤が難しい遠方への派遣
	労働者・派遣先の所在地	居住地：静岡県全域⇒派遣先所在地：静岡県西部、首都圏
	派遣職種	IT系専門・技術的職業
	派遣先業種	製造業、建設業（施行管理等）、金融業等
遠方への派遣のニーズ	派遣先ニーズ	事業所周辺（静岡県東部）にIT人材ニーズのある企業は少なく、派遣労働者の希望する業務内容で派遣を希望する派遣先を開拓することは難しい。
	派遣労働者ニーズ	- 派遣労働者本人は、業務内容への希望があることが多いが、就労地域に対する強い希望がないことが多い。本人が従事を希望する業務内容を求める派遣先とマッチングするために、広域を対象に派遣先を探す必要がある。 - 同内容の業務であっても、地域によって価格が異なるため、比較的価格の高い地域への派遣をすることで、派遣労働者の賃金を一定水準以上に維持している。 「遠方での就職」には抵抗がある者（保護者を含む）が多い。そのため、派遣労働者にとって身近な地元の会社に就職した上で、遠方での就労機会を提供することができる労働者派遣という形態がメリットとなっている。
遠方への派遣における工夫課題	工夫	- マンスリーマンションとの法人契約、初期費用・初月の賃貸料を法人負担しており、遠方への派遣において派遣労働者の転居の負担を軽減している。 - 住宅手当、地域手当を支給している。 - コロナ禍では、コロナに罹患した際は、事業所から食料品を送り、親元を離れることによる負担・不安を軽減するように努めた。
	課題	派遣労働者の居住地、就労場所が派遣元事業所から離れているため、派遣労働者の遅刻や無断欠勤への対処が難しいことがある。
労働者派遣制度に係るご意見		特段なし

(3) ヒアリング結果

- 特定の派遣職種は、人材が不足しているため、遠方の派遣先事業所からも受入のニーズがある
- 一方、遠方への派遣は派遣労働者の負担となるため、積極的に行っていない

		H社
遠方への派遣 (通勤時間 1時間以上) の概要	割合	- 派遣労働者57名 - うち10名程度が遠方への派遣
	労働者・ 派遣先の所在地	- 居住地：愛知県名古屋市⇒派遣先所在地：愛知県東海市 - 居住地：愛知県名古屋市⇒派遣先所在地：愛知県豊橋市
	派遣職種	- システムエンジニア - プログラマー - テスター
	派遣先業種	製造業、鉄鋼業等
遠方への派遣の ニーズ	派遣先ニーズ	地域に関わらずIT人材は不足しているため、遠方からの需要もある
	派遣労働者 ニーズ	- 派遣先が都市部であれば、多少遠方であっても派遣のニーズがある - 派遣労働者のキャリアにマッチした業務内容であれば、遠方であっても派遣労働者に相談をする。マッチングは、通勤時間等を踏まえて合意の上で決定する
遠方への派遣に おける工夫課題	工夫	- 遠方への派遣にあたって、転居の必要が生じた場合は住宅手当を支給している - 遠方の派遣先であっても、在宅勤務の活用等が進んでいると派遣がしやすい
	課題	- 派遣労働者の負担となるため、遠方の派遣先と契約は積極的に行っていない - 遠方の派遣先は、派遣元が訪問する頻度が落ちる傾向にあり、状況が把握しづらい - 遠方の派遣先では、遅刻が多い傾向がある（もともと遅刻の多い労働者だったため、距離の影響は特段ない可能性がある） - 遠方への派遣によって生じる交通費については、派遣料金に乗せておらず、手当も特段ない。業務が同内容の他の派遣労働者の不公平感につながることを懸念している
労働者派遣制度に係るご意見		特段なし

(3) ヒアリング結果

- 長期間勤務している派遣先事業所の移転に伴い、派遣先が遠方に変化したが、派遣先、派遣労働者の双方の要望があり、遠方への派遣とした
- 遠方への派遣にあたっては、通勤に係る負担を考慮し、就労時間を調整することで出勤日数を減らす等の工夫を実施

		G社
遠方への派遣 (通勤時間 1時間以上) の概要	割合	派遣労働者11名 うち2名が遠方への派遣
	労働者・ 派遣先の所在地	- 居住地：埼玉県蕨市 ⇒ 派遣先所在地：神奈川県横浜市 - 居住地：東京都板橋区 ⇒ 派遣先所在地：神奈川県横浜市
	派遣職種	データセンターのオペレーター職 情報サービス系センターの運用管理に従事
	派遣先業種	情報通信業
遠方への派遣の ニーズ	派遣先ニーズ	派遣労働者が長期間勤務していたデータセンターの移転に伴い、遠方への派遣となった。派遣先から同じ職場で勤務を続けてほしいという要望があり、派遣労働者に相談した
	派遣労働者 ニーズ	派遣先が遠方に移転するが、同じ職場での勤務継続の要望があり、遠方への派遣となった
遠方への派遣に おける工夫・ 課題	工夫	通勤の負荷が大きくなったことを考慮し、フルタイムで働きながらも1日当たりの就労時間を調整することで、出勤日数を減らすように派遣先で調整している
	課題	- 複数の交通機関を乗り継いで派遣先に通勤する必要があるため、交通トラブルによる遅刻が増えた - 遠方になり、営業担当者が派遣先を訪問する回数が減っている - 交通費が上がったことを理由に派遣料金を上げる交渉は行っていない
労働者派遣制度に係るご意見		厚生労働省で設定している一般賃金水準に対応するIT系の職種が少なく、賃金水準を設定する際、職種を対応させることが難しい。現行の職種分類においては、同一職種における賃金幅が大きいため照合が難しいと感じる

(3) ヒアリング結果

- 派遣受入職種（施工管理）について、担い手が多くないため、通勤距離に関わらず採用/派遣受入を行いたいと考えている
- 遠方からの通勤に係り、特段の配慮やトラブル等は生じていない

		b社
遠方からの派遣受入の概要	割合	派遣労働者 2 名 うち 1 名が遠方からの派遣
	労働者・派遣先の所在地	・ 居住地：大阪府 ⇒ 派遣先所在地：兵庫県尼崎市
	派遣受入職種	・ 施工管理・安全管理
	派遣先業種	・ 建設業
直接雇用と派遣労働者の通勤時間の違い		・ 事業所が兵庫県のうち大阪府近くに所在しているため、 直接雇用の労働者においても、大阪府から 1 時間以上かけて通勤する労働者が半数程度 いる
遠方からの派遣受入のニーズ	遠方派遣受入の理由・背景	・ 施工管理については、直接雇用の募集も行っているが、担い手がおらず、紹介をきっかけに遠方から派遣労働者を受け入れることとなった ・ 事業所の所在地の特性上、遠方から通勤している者は少なくないため、当該派遣労働者が特に遠方から派遣されている認識はない
	ニーズ	・ 施工管理については担い手が多くないため、通勤距離等に関わらず採用/派遣受入を行いたい ・ 長期勤続を期待するため、直接雇用が望ましいが、労働人口の少ない地域では、一時的な人材確保の手段として派遣労働者を受け入れている
遠方からの派遣受入に係る工夫・課題	工夫	・ 遠方からの派遣受入に際して、特段の配慮は必要としていない
	課題	・ 遠方からの派遣受入において、特段のトラブルや不満は生じていない

Thank you